

室蘭工業大学-学報

NO.681



令和8年度優秀学生表彰式及び懇談会を開催
(9ページに関連記事あり)

2026年 7月号

目 次

◇ トピックス ◇

カーボンニュートラルの実現に向け電気自動車「N-ONE e:」を導入	1
名誉教授称号授与式を挙行	2
令和8年度室蘭工業大学開学記念 名誉教授との懇談会を開催	3
進め、理系女子！2026 ～未来をデザインする私を見つける日～ -北見工大× 北大工学部×室蘭工大 道内国立3大学トークセッション型説明会-を開催	5
張 俗喆教授が「2026年Springer Nature 編集貢献賞」を受賞	7
本学学生が軽金属学会第150回春期講演大会において軽金属溶接協会優秀ポスター賞を 受賞	8
令和8年度優秀学生表彰式及び懇談会を開催	9
令和8年度異分野融合セミナーを開催	11
本学学生が日本鑄造工学会「2025年度 学生鑄物コンテスト」で最優秀賞を受賞	12
YAMATO Kitchen（学生食堂）で株式会社伊藤工業様の支援を受け「食支援トクトク 企画」を実施	14
ベレム准教授の歩行者移動の再編について分析した論文が国際学術誌『Mobilities』に 掲載	15
回転デトネーションエンジンの世界初宇宙実証の成果をまとめた論文が 「AIAA A Century of Rocketry : 100Papers Celebrating100Years」に選定	17
小型無人ジェット機（オオワシ）による離着陸を含む完全自動飛行に成功しました -大学機関では国内初-	18
M-COINSが授業科目「情報セキュリティ入門」の授業内で「Box」のセキュリティ等 に関する説明を行う	20
「価値ある大学 就職力ランキング2026-2027」（日経HR）「卒業生の活躍度が分かる 就職力ランキング」北海道・東北2位（全国20位）にランクイン	21
経営協議会学外委員による施設見学を実施	22

◇ 情報・資料 ◇

国立大学法人室蘭工業大学の役職員の報酬・給与等について	23
-----------------------------------	----

◇ 外部資金 ◇

民間等との共同研究の受入れ	36
受託研究等の受入れ	37
奨学寄附金の受入れ	38

◇ 人 事 ◇

人事異動	39
------------	----

◇ 会 議 ◇

学内各種委員会等の開催.....	40
------------------	----

◇ 日 誌 ◇

学内行事・学外行事.....	41
----------------	----

◇ 人物図鑑 ◇

室蘭工業大学人物図鑑 part.51～52	42
-----------------------------	----

トピックス

カーボンニュートラルの実現に向け 電気自動車「N-ONE e:」を導入

室蘭工業大学は、「国立大学法人室蘭工業大学における地球温暖化対策に関する実施方針2024」に基づき、電気自動車「N-ONE e:」を公用車として導入しました。

導入に携わった本学経理課石川課長は「公用車の全体的な老朽化が進み、更新を計画していたところ、学内から温室効果ガスを排出しない電気自動車について提案があり、これを契機として今回の導入に至りました。本電気自動車は、カーボンニュートラルの実現に寄与できるほか、災害時における給電への活用が見込まれる。」と

述べていました。

また、佐藤財務担当理事は「地域に根差した理工系単科大学として、エネルギー問題やカーボンニュートラルの実現といった課題解決に向け、大学全体の意識醸成を図り、持続可能な社会づくりに貢献していきたい。」と、今後の取組みに対する意欲を示しました。

なお、本電気自動車には、本学の公式キャラクターである「ムロぴょん」を全体にあしらったラッピングを施しており、今後は、広報活動にも活用していきます。



N-ONE e:と導入を牽引した石川経理課長（左から2番目）



ムロぴょんが派手に描かれたN-ONE e:

名誉教授称号授与式を挙行

令和8年3月31日限りで退職された永野宏治氏に対して、令和8年4月1日付けで、室蘭工業大学名誉教授の称号が授与されました。

称号授与式は令和8年5月22日(金)11時00分から本部

棟3階中会議室において行われ、出席された永野宏治氏に称号の授与がなされた後、学長から本学の発展へのご尽力に感謝の言葉が述べられました。



松田学長を囲んで記念撮影

令和 8 年度室蘭工業大学開学記念 名誉教授との懇談会を開催

令和 8 年 5 月 22 日 (金) に、本部棟大会議室において、名誉教授との懇談会を開催しました。

この懇談会は、開学記念行事の一環として名誉教授の先生方を招き、本学の運営に関し、意見や要望等を伺い、今後の大学運営に反映させることにより、大学運営の一層の充実、発展を期すために開催しているものです。

当日は、松田学長の挨拶からはじまり、続いて佐藤理事から本学の現況説明が行われた後、本学元学長の松岡健一先生から学士修士一貫教育プログラムに関する質問があったほか、野村滋先生から特任教授に関する質問があるなど、活発に意見交換が行われました。

会の途中には、臺丸谷先生からご自身の近況として、春の叙勲における瑞宝中綬章の受章の感想などのお話をいただきました。

今年度の出席名誉教授は次のとおりです。

松 岡 健 一	野 村 滋	杉 岡 正 敏
杉 山 弘	臺丸谷 政 志	岸 徳 光
村 山 茂 幸	土 屋 勉	伊 藤 秀 範
相 津 佳 永	高 野 英 明	溝 口 光 男
河 合 秀 樹	齋 藤 英 之	永 野 宏 治



松田学長の挨拶



大学の現況説明をする佐藤理事



質問をする野村名誉教授



乾杯する岸名誉教授



近況報告する臺丸谷名誉教授



挨拶する松岡名誉教授

進め、理系女子！2026 ～未来をデザインする私を見つける日～ ー北見工大×北大工学部×室蘭工大 道内国立3大学トークセッション型説明会ーを開催

令和8年5月17日(日)に室蘭工業大学、北海道大学工学部、北見工業大学の道内国立3大学が札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)北3条交差点広場(西)において、「進め、理系女子！2026 ～未来をデザインする私を見つける日～ー北見工大×北大工学部×室蘭工大 道内国立3大学トークセッション型説明会ー」を開催しました。

女子生徒や保護者、中学・高校の教員の皆様に理系進学後の学生生活や就職の状況を知っていただくため、昨年度、道内3大学が連携して初めて開催しました。今年

度は第2回目として実施し、当日は約160名の方々にご参加いただきました。

本説明会では、各大学の女性教員、現役女子学生、卒業生が工学の魅力を語り、札幌市内の女子生徒からは「理系女性の生の声、特に進路先について詳しく聞くことが出来て参考になった。」と述べておりました。各大学の進学相談会も実施され、各大学のブースに訪れた女子生徒やその保護者に対し、大学パンフレットやスライドを用い、個別に大学の魅力を伝えておりました。



女子学生トークセッション -キャンパスライフの本音-



OGトークセッション -仕事とキャリアの本音-



女性研究者のライフとワーク (室工大・石川先生)



室蘭工業大学ブースでの受験相談



大学クイズに登壇するムロピョンと城野先生



オリジナルアロマミストを作ろう！

進め、理系女子!2026
～未来をデザインする私を見つける日～

学生・卒業生・教員が本音を語ります!

参加無料

道内国立3大学 トークセッション型 説明会
北見工大 × 北大工学部 × 室蘭工大

理系女子大生の日常は?なぜ理系を目指したの?どこに就職できるの?などの疑問に現役女子学生・卒業生(OG)・女性教員が本音で語ります。各大学のフーズでは、実際に進学相談ができるスペースを設け、現役学生がキャンパスライフについてお話しします!「理系で活躍したい方はもちろん、進路について悩んでいた方、少しでも理系に興味がある方は、是非ご参加ください!」

進学相談会
各大学にて個別相談を行います!
～個別相談～
個別相談: 各大学にてキャンパスライフ(生活、就職、サークル)について個別にお話しできるスペースを設けます。
～個別相談～
個別相談: 各大学にてキャンパスライフ(生活、就職、サークル)について個別にお話しできるスペースを設けます。

ワークショップ
オリジナルアロマミストを作ろう!
～ワークショップ～
オリジナルアロマミストを作ろう!
～ワークショップ～
オリジナルアロマミストを作ろう!

5/17日 11:00～16:00

場所: ち・か・ホ 札幌駅前地下通 3F(札幌駅東口徒歩1分)

参加対象: 道内の高校生・中学生・小学生
～参加対象～
道内の高校生・中学生・小学生

参加費: 無料
入場券: 無料

お問い合わせ: 北見工業大学 企画課 011-257-2571 ext.1000
室蘭工業大学 企画課 011-257-2571 ext.1000
北海道立大学 企画課 011-257-2571 ext.1000

《女性研究者のライフとワーク 講師プロフィール》

村岡 清華
北海道大学 工学部 工学系 工学系 工学系 工学系
工学系 工学系 工学系 工学系

松岡 望
北海道大学 工学部 工学系 工学系 工学系
工学系 工学系 工学系 工学系

石川 彩香
室蘭工業大学 工学部 工学系 工学系 工学系
工学系 工学系 工学系 工学系

イベントスケジュール(予定)

11:00～11:10 ▶ オープニング
11:10～11:30 ▶ 女性研究者のライフとワーク (北見工業大学)
11:40～12:00 ▶ 女子学生トークセッション ～キャンパスライフ2026～
12:05～12:30 ▶ オリジナルアロマミストを作ろう!
12:35～12:50 ▶ 女性研究者のライフとワーク (室蘭工業大学)
13:05～13:20 ▶ OGトークセッション ～仕事とキャリアの未来～
13:25～13:40 ▶ OGトークセッション
13:45～14:00 ▶ 女性研究者のライフとワーク (北海道大学工学部)
14:05～14:20 ▶ オリジナルアロマミストを作ろう!
14:25～14:40 ▶ 女性研究者のライフとワーク (室蘭工業大学)
14:45～15:00 ▶ OGトークセッション
15:05～15:20 ▶ OGトークセッション
15:25～15:40 ▶ 女性研究者のライフとワーク (室蘭工業大学)
15:45～16:00 ▶ クロージング

女子学生トークセッション
～キャンパスライフの未来～
女子学生トークセッション 11:40～12:00
～キャンパスライフの未来～
女子学生トークセッション 11:40～12:00

OGトークセッション
～仕事とキャリアの未来～
OGトークセッション 13:35～14:15
～仕事とキャリアの未来～
OGトークセッション 13:35～14:15

なぜ理系を目指したの?サークルや日常は?
現役女子学生が、キャンパスライフを本音で語ります!

理系に選んだ先にどんな道があるの?
社会で活躍する先輩たちが、道路選びや仕事のリアルを本音で語ります!

北見工業大学
室蘭工業大学
北海道立大学

張 俗喆教授が「2026年Springer Nature 編集貢献賞」を受賞

しくみ解明系領域 張俗喆教授が、学術出版社 Springer Natureより「Editor of Distinction Award 2026」を受賞しました。

張教授の受賞は2年連続となります。張教授は、Springer Nature社が発行する学術誌「Applied Biochemistry and Biotechnology」の副編集長を務めており、今回の受賞は、同誌の編集活動および学術出版への貢献が高く評価されたものです。

「Editor of Distinction Award」は、「Springer Nature Editorial Contribution Award」の一部であり、投稿論文の精密な評価および査読プロセスの厳密な管理を通じて、出版される論文の科学的正確性を確保することに寄与した編集者に授与される賞です。

【Springer Nature社：Chief Scientific Officerのコメント】

今回の受賞を通じて、査読プロセスの円滑な運営にお

いて受賞者が果たしてこられた重要な役割を公式に認識し、そのご尽力に深く感謝申し上げます。投稿論文の改善に向けて注がれた多大な時間と専門的知見は、学術誌の質の向上に大きく寄与しています。こうしたご協力を得て、私たちは信頼性の高い学術出版を共に築くことができ、大変光栄に思っております。このたびのご受賞、誠におめでとうございます。

著者の皆様へのご尽力と、学術的発見の推進に多大なご貢献を賜り、心より感謝申し上げます。

【受賞者のコメント】

このたび、Springer Natureより編集貢献賞を賜りましたことを、大変光栄に存じますとともに、心より嬉しく思っております。

また、本学の教員をはじめ、査読にご協力いただいた世界中の関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。



本学学生が軽金属学会第150回春期講演大会において 軽金属溶接協会優秀ポスター賞を受賞

令和 8 年 5 月に富山国際会議場で開催された軽金属学会第150回春期講演大会において、本学大学院工学研究科生産システム工学系専攻機械ロボット工学コースの辻 晃大さんが、「軽金属溶接協会優秀ポスター賞」を受賞しました。

本賞は、同大会における多数のポスター発表の中から、研究内容の独創性・技術的有用性・ポスターの完成度・発表者の説明力等が総合的に高く評価されたことを示すものであり、若手研究者にとっても極めて名誉ある成果とされています。

【概要】

辻 晃大（大学院工学研究科生産システム工学専攻機械ロボット工学コース 2 年）

軽金属学会第150回春期講演大会 軽金属溶接協会優秀ポスター賞

「摩擦攪拌接合を適用したA2024アルミニウム合金の時効挙動に及ぼす接合部からの距離の影響」

航空機などの用途に多く使用されるA2024アルミニウム合金に摩擦攪拌接合を適用し、その後に時効析出処理を行うことで更なる強化を図り、熱分析および透過電子顕微鏡を用いた解析により、時効析出挙動を明らかにした。

（摩擦攪拌接合とは溶解しない接合方法であるが、リベットやボルトなどの機械接合や、材料を熔融する溶接とは異なり、接合部の強度低下を生じさせない接合方法）

【受賞コメント】

この度は、全国学会においてこのような栄誉ある賞を賜り、大変光栄に存じます。本研究を進めるにあたり、多大なるご指導を賜りました安藤先生をはじめ、共同研究者の皆様にご心より感謝申し上げます。今回の受賞を励みに、今後もより一層研究活動に精進してまいります。



表彰式の様子

優秀学生表彰式及び懇談会を開催

令和8年5月22日(金)、本部棟大会議室において、令和8年度優秀学生表彰式及び懇談会を開催しました。

この優秀学生奨励金制度は「室蘭工業大学教育・研究振興会」の支援事業の一つであり、学生全体の学業成績のレベルアップを図ることを主な目的として、学業及び人物ともに優れている学生を表彰するものです。

表彰式では、理事、副学長、学科長列席のもと、松田学長から受賞者に表彰状と奨励金が贈呈され、学長挨拶に続いて学生代表による謝辞が述べられました。

また、表彰式に引き続き、学長等と優秀学生との懇談会が行われました。松田学長から優秀学生に大学院進学等についての質問があり、学生から率直な意見が寄せられました。

【受賞者のコメント】～表彰式での学生代表挨拶～

森原 岳也（システム理化学科 数理情報システムコース 4年）

受賞者を代表しまして、ひとことご挨拶いたします。

ただいま、松田学長から、奨励金をいただくとともに、身に余るお言葉をいただき、誠にありがたく存じております。私たちは、今回表彰されたことに感謝するとともに、この表彰の名に恥じぬよう努力し、本学学生の模範となるよう、勉学、研究に一層精進していく所存です。今回の受賞を大きな糧とし、将来はそれぞれの分野から社会へ貢献できる人材となれるよう、高い志を持って歩みを進めてまいります。本日は、本当にありがとうございました。



松田学長による挨拶



表彰式の様子①



表彰式の様子②



懇談会の様子



記念撮影

令和 8 年度異分野融合セミナーを開催

令和 8 年度異分野融合セミナーを令和 8 年 6 月 3 日（水）に教育・研究 1 号館 A 棟 A333 講義室で開催し、約 72 名が参加しました。今回は、慶應義塾大学 再生医療リサーチセンター長 教授の岡野 栄之氏を講師に招き、「中枢神経系の再生医療と疾患研究」と題して、今後の

再生医療の展望や AI の活用事例についてなど、本学博士課程学生にとって大変示唆に富む内容を講演いただき、参加者は興味深く聴き入っていました。講演後の質疑応答では、会場の参加者からの質問に対して丁寧な説明があり、セミナーは盛況のうちに終了しました。



講演する岡野氏



集合写真

本学学生が日本鋳造工学会 「2025年度 学生鋳物コンテスト」で最優秀賞を受賞

令和 8 年 5 月 23 日(土)にライトキューブ宇都宮で開催された、公益社団法人日本鋳造工学会主催の「日本鋳造工学会 第187回全国講演大会」において「2025年度 学生鋳物コンテスト」の表彰式が行われ、本学大学院生 2 名が最優秀賞（第 1 位）を受賞しました。

本コンテストは、学生の自由な発想による鋳造方案をもとに実際に鋳物を製作し、その品質やコストを競う競技です。今年度は、全国の大学・高専（全12校・14チーム）が参加し、アルミニウム合金製スマホスタンドの鋳造品の品質とコストを競い合いました。鋳造理論と綿密なシミュレーションをもとに鋳造用鋳型を製作し、鋳物品質（湯回り、外引け、外観）とコスト生産性（重量歩留まり、仕上げ加工の容易さ）の評価を受けました。

【受賞内容】

「2025年度 学生鋳物コンテスト」最優秀賞

片岡愛介、矢内翔真

（機械製作学研究室 大学院工学研究科 博士前期課程 生産システム工学系専攻 機械ロボット工学コース 2 年）

チーム名：室蘭工業大学 長船研究室

参加校：室蘭工業大学、岩手大学、群馬大学、東京都市大学、早稲田大学、ものづくり大学、大同大学、豊橋技術科学大学、近畿大学、九州大学、群馬工業高等専門学校、久留米工業高等専門学校

【受賞者のコメント】

この度は、2025年度学生鋳物コンテストにおいて最優秀賞をいただき、大変光栄に思います。ご指導いただいた長船先生ならびに、鋳造の基礎知識をご教授いただいた戸羽技術士事務所の戸羽様をはじめ、多くの方々のご協力のもと、メンバーと相談しながら試行錯誤を重ねた結果であると感じております。心より感謝申し上げます。まだ学ぶべきことは多くありますので、この結果に満足することなく、今後も鋳造技術の理解と向上に努めて参ります。



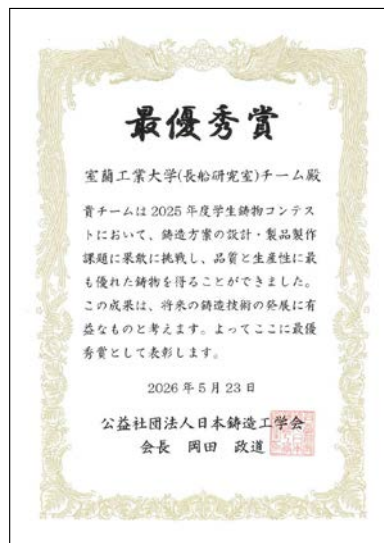
製作した鋳造用鋳型



表彰式の様子
（公益社団法人日本鋳造工学会 岡田政道会長：左）



最優秀賞を受賞した
矢内翔真さん（左）、片岡愛介さん（右）



表彰状

YAMATO Kitchen（学生食堂）で株式会社伊藤工業様の支援を受け「食支援トクトク企画」を実施

令和8年6月1日(月)から5日(金)までの間、YAMATO Kitchen（学生食堂）にて「食支援トクトク企画」を実施しました。

本企画は、昨年度に引き続き、株式会社伊藤工業（港北町）様から学生への食を支援することを目的にいただいた寄付をもとに実施され、人気メニューの「チキン竜田丼」をはじめとする全3品、計5000食を通常価格より200円引きで提供されました。

企画の初日である6月1日(月)に伊藤代表取締役が本学を訪問し、「地域に恩返しをするための支援であり、室工大生には、学食でたくさん食べて勉学に励んでほしい」と話されました。

初日にチキン竜田丼を購入した創造工学科3年の男子学生は、「物価高の影響で外食は控えていた。今回の企画は大変ありがたいです。来年も同じ企画があると嬉しいです」という声が上がっていました。



右：伊藤代表取締役、左：花島副学長



行列が外まで続いた初日の様子



伊藤代表取締役と歓談する学生たち

ペレム准教授の歩行者移動の再編について分析した論文が 国際学術誌『Mobilities』に掲載

ペレム ジョン ガイ准教授（室蘭工業大学 大学院工学研究科 ひと文化系領域 言語科学・国際交流ユニット）による研究論文「Narrowing urban public space by patrol: how a security robot reorders underground mobilities」が、国際学術誌『Mobilities』に掲載されました。

本研究は、札幌駅前通地下歩行空間において巡回する自律型警備ロボットを対象に、ロボットの移動経路、床面照明、音声警告、走行音、カメラ運用表示などが、歩行者の移動や公共空間の使用方法をどのように変化させるかを、継続的な現地観察とフィールドワーク写真に基づいて明らかにしたものです。研究成果は、警備ロボットを単なる移動機械としてではなく、都市空間の移動・注意・監視のあり方を変化させる公共空間の管理装置として捉える必要性を示しています。

研究のポイント

- 札幌駅前通地下歩行空間を対象に、令和6年11月から令和7年12月まで継続的な現地観察とフィールドワーク写真による調査を実施
- 警備ロボットが通路中央付近を巡回することで、歩行者が左右へ移動してすれ違う傾向が生じ、通行可能な空間が実質的に狭くなることを確認
- ロボットの床面照明の周囲で歩行者が減速・回避・譲歩する「ロボット中心のバブル効果」を示した
- 歩きスマホへの音声警告、走行音、「警備中」の表示、カメラ運用表示などが、歩行者の注意や行動を調整する役割を持つことを分析
- 充電ステーションへの帰還やクラウド型の画像・映像記録を含め、巡回ロボットがその場限りの接触を超えた監視・管理の仕組みに接続していることを指摘

研究の背景

近年、日本では労働力不足や人口構造の変化を背景に、サービス業や公共性の高い施設でロボットの導入が進んでいます。これまでロボット導入に関する研究では、利用者がロボットを受け入れるか、ロボットが安全に動作するかといった観点が多く扱われてきました。

一方で、駅、空港、地下歩行空間など、多くの人が日

常的に利用する都市インフラにロボットが導入された場合、ロボットは単に「そこを移動する物体」ではありません。歩行者の進路、速度、距離感、注意、行動規範に影響を与える存在となります。

特に札幌の地下歩行空間は、冬季の積雪時にも通勤・移動・買い物などを支える重要な歩行者インフラです。そのような場所で警備ロボットが日常的に巡回することは、都市の公共空間のあり方を考えるうえで重要な事例となります。

研究の内容

本研究では、札幌駅前通地下歩行空間で巡回する警備ロボットを対象に、歩行者がロボットとすれ違う際の動き、歩行者の横方向への移動、減速や距離の取り方、ロボットの照明・音声・表示が与える影響を観察しました。

その結果、ロボットが通路中央付近を繰り返し巡回することで、歩行者が左右に移動してロボットを避ける場面が見られました。これにより、形式的には公共空間として開かれている通路であっても、実際に歩行者が自由に使える通行空間が狭まることが明らかになりました。

また、ロボットが床面に照明を投影することで、その周囲に歩行者が入り込みにくい移動領域が形成されていました。本研究ではこの現象を「ロボット中心のバブル効果」と捉え、歩行者がロボットの物理的な大きさ以上の空間を避けるよう行動する点を示しました。

さらに、ロボットが発する歩きスマホへの注意喚起、走行時の音、正面に表示される「警備中」のメッセージ、カメラ運用を示す表示などは、歩行者に対してロボットを警備主体として認識させる役割を果たしていました。これらの光・音・表示は、歩行者の注意や行動を調整し、公共空間における移動のルールを自動化された形で示すものと考えられます。

加えて、ロボットは巡回後に充電ステーションへ戻り、移動中だけでなく停止・充電中にも警備インフラの一部として存在していました。画像・映像の記録やクラウド保存といった機能と合わせて考えると、警備ロボットはその場の通行整理だけでなく、公共空間における監視やデータ管理の問題にも関わる存在であることが示されました。

今後の展望

本研究は、公共空間に導入されるロボットを評価する際には、衝突回避や安全性だけでなく、歩行者の通行空間、アクセシビリティ、音環境、視覚的な圧力、プライバシー、データ管理などを総合的に検討する必要があることを示しています。

今後、駅、空港、商業施設、地下歩行空間などで警備ロボットや案内ロボットの導入がさらに進む可能性があります。そのため、ロボットが人々の移動や公共空間の使われ方にどのような影響を与えるのかを、現地観察、利用者への聞き取り、管理主体への調査、地域との比較研究などを通じて検討していくことが期待されます。

論文情報

論文名：Narrowing urban public space by patrol: how a security robot reorders underground mobilities

雑誌名：Mobilities

著者名：John-Guy Perrem

D O I： [10.1080/17450101.2026.2672983](https://doi.org/10.1080/17450101.2026.2672983)

キーワード：Mobilities, public space, underground walkways, patrol robotics, surveillance, urban

用語解説

- **モビリティーズ**：人や物の移動を、交通手段だけでなく、社会、空間、政治、技術、身体的経験と結び付けて考える研究分野
- **公共空間**：誰もが利用できる空間である一方、設計、管理、監視、ルール、利用者同士の行動によって、実際の使われ方が変化する空間。
- **ロボット中心のバブル効果**：本研究で示された現象で、ロボットの床面照明や移動経路の周囲に、歩行者が距離を取り、減速・回避・譲歩する移動領域が形成されること。
- **札幌駅前通地下歩行空間**：札幌駅周辺と大通方面を結ぶ地下歩行空間。冬季の積雪時にも利用される、札幌中心部の重要な歩行者インフラ。

研究に関する問い合わせ

室蘭工業大学 大学院工学研究科 ひと文化系領域 言語科学・国際交流ユニット

准教授 ペレム ジョン ガイ

E-mail： jgperrem@muroran-it.ac.jp



札幌駅前通地下歩行空間を巡回する警備ロボット



床面照明によるロボット中心のバブル効果

回転デトネーションエンジンの世界初宇宙実証の成果を まとめた論文が「AIAA A Century of Rocketry: 100Papers Celebrating100Years」に選定

AIAA（米国航空宇宙学会）は、1926年3月16日にロバート・H・ゴダード博士によって打ち上げられた世界初の液体燃料ロケットの100周年を記念し、液体燃料ロケット100年の歴史から厳選した歴史的な100本の学術誌アーカイブが無料公開されました。

そのうちの1本として、室蘭工業大学 航空宇宙機システム研究センターが、名古屋大学 笠原研究室と実施した回転デトネーションエンジンの世界初宇宙実証の成果をまとめた以下の論文が選定されました。

今回選定された論文は、ロケット科学および工学に対する多大な貢献が評価されたことを意味します。この歴史的な橋頭保の上に、さらに発展的研究を加速してまいります。

[AIAA A Century of Rocketry:100Papers Celebrating 100Years URL]

https://arc.aiaa.org/goddard100?Site=aiaa_frame

(令和8年12月31日まで無料)

概要

論文タイトル

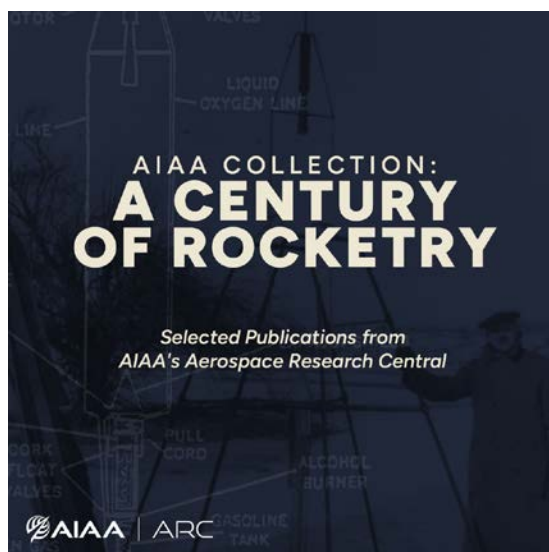
Space Flight Demonstration of Rotating Detonation Engine Using Sounding Rocket S-520-31,

著者

K. Goto, K. Matsuoka, K. Matsuyama, A. Kawasaki, H. Watanabe, N. Itouyama, K. Ishihara, V. Buyakofu, T. Noda, J. Kasahara, A. Matsuo, I. Funaki, D. Nakata, M. Uchiumi, H. Habu, S. Takeuchi, S. Arakawa, J. Masuda, K. Maehara, T. Nakao and K. Yamada

Journal of Spacecraft and Rockets Vol.60 No.1, Jan. 2023

[論文URL] <https://doi.org/10.2514/1.A35401>



小型無人ジェット機（オオワシ）による離着陸を含む 完全自動飛行に成功しました ー大学機関では国内初ー

室蘭工業大学航空宇宙機システム研究センターを中心とする教員・学生チームは、高速飛行する小型無人ジェット機「オオワシ」（以下：「オオワシ」）の離陸から着陸までの完全自動飛行に成功しました。

「オオワシ」のポイント

- ・高速飛行する小型無人ジェット機の離陸から着陸までの自動飛行に成功
- ・機体は超音速を目指して設計したもので、離着陸を含む飛行特性を検証した
- ・無人ジェット機の完全自動飛行は、国内の大学では初
- ・高速飛行に適合した自動制御パラメタの設定や舵面の製作精度などがカギ
- ・広大な北海道の地域産業での活用や災害観測などでの利用に期待

背景

室蘭工業大学では2005年に設立された航空宇宙機システム研究センターを中心とする教員・学生チームで「大気中を高速度で飛行する基盤技術」に関する各種研究開発を行ってきました。白老実験場の広大な試験環境を生かし、他大学では頻繁に行うことの難しい飛行実験や屋外エンジン試験などを実施、そのノウハウを確立してきました。2017年に低速のプロペラ機での自動操縦には成功していますが、このたび技術的難度の高い無人ジェット機での離陸から着陸までの完全自動飛行を達成しました。

4 発のプロペラを備えたマルチコプターは操縦の容易性から広く産業利用されるに至っていますが、本質的に空気抵抗が大きく、長距離の低燃費飛行には向いていません。これに対し、飛行機のような翼を備えた固定翼機は自動操縦の技術的難度が高いものの、空気抵抗は小さく、より高速で長距離の観測や物資運搬に適しています。このような無人ジェット機での完全自動操縦については、一部の民間企業では成功していますが、国内の大学では初となります。

https://www.youtube.com/channel/UCul_dMAWZkc0Nxs0DgawDLw

「オオワシ」の概要と技術要素

「オオワシ」は超音速での飛行を念頭に設計したもので、クランクト・アロー翼と呼ばれる翼形状を採用しています。室蘭工業大学大学院工学研究科 溝端 一秀 准教授が中心となって風洞実験や車載走行試験による空気力学特性の把握や機体構造へのフィードバックを続けると共に、樋口 健 名誉教授、江口 光 助教らによる着陸脚設計、今井良二 教授らによる燃料タンク設計や湊 亮二郎 准教授によるインテーク設計なども進められました。現行モデルの飛行機体の製作および飛行試験プロジェクトは2018年頃から行われ、少しずつ改良を重ねてきたものです。最終的には強力なジェットエンジンあるいはロケットエンジンの搭載により超音速での飛行も可能な機体設計になっていますが、その場合にも最も難しいのは離着陸時の制御であり、今回の試験はこの点を打開したマイルストーンであると言えます。機体製作は当初、本州の業者に依頼していましたが、次第に内製率を高め、本学航空宇宙工学コース有志学生チームによって精度の高い組み立てノウハウが確立できるようになりました。また、操縦精度を決める舵面のエレベーター軸などは地元室蘭の永澤機械殿に依頼し 1 /100mmの精度で製作してもらっています。

自動制御においては上羽 正純名誉教授が白老滑空場、鹿部飛行場などで手動操縦を組み合わせた形で培った運用ノウハウ・操縦性の改善をベースとし、2023年度から畠中 和明 准教授が新たに構築した自動制御システムにより、高速飛行での安定制御を可能とする制御システム設定に成功しました。

高度情報はGPS・気圧センサと共に、最終アプローチではレーザー距離計を併用することにより精度の高い着陸を実現しました。テレメトリには920MHz帯の通信機器を使用しています。これらの搭載機器も含め、1機あたり100万円程度のコストで製作しています。



波及効果と今後の展望

高速で航続距離の長い固定翼無人機は火山噴火時や水難事故などの災害時広域観測において有用であると期待されます。目視外飛行の実現に向け、機体の大型化と燃料搭載量の増加、また北沢祥一教授の専門的知見を活かした、長距離無線伝送技術の実装も進めます。

「オオワシ」の現在の最高速は250 km/h程度ですが、将来的に超音速までの飛行も可能な機体形状であり、きわめて高速での初動能力を有しています。高速の初動機に続いてホバリング可能なVTOL固定翼機の編隊を現場に送るなどのハイ・ローミックスでの運用形態が考えられます。

「オオワシ」は無人機自動飛行技術のフラッグシップと位置付けておりますが、これのみならず、例えば垂直離着陸性を備えた無人機を活用した積雪深度のレーザー

計測など様々な実証研究も進めており、様々な用途に合わせた多彩な無人機活用の研究を実施しています。

このような実証試験を経験した卒業生は重工業メーカーなどで設計・製造からシステム運用までをリードする人材として活躍することが期待されます。

システム全般に関する問い合わせ

室蘭工業大学 航空宇宙機システム研究センター 准教授
中田 大将

E-mail : nakata@muroran-it.ac.jp

自動飛行技術に関する問い合わせ

室蘭工業大学 航空宇宙機システム研究センター 准教授
畠中 和明

E-mail : hatnac@muroran-it.ac.jp

M-COINSが授業科目「情報セキュリティ入門」の授業内で「Box」のセキュリティ等に関する説明を行う

令和8年5月1日(金)から5月12日(火)にかけて、本学教育・研究1号館C棟3階の情報メディア演習室において、本学1年生の必修科目「情報セキュリティ入門」の授業が実施されました。この授業の一環として、M-COINS（デジタル・キャンパス推進スチューデントアンバサダー）のメンバーが、本学で全学的に導入しているクラウド型コンテンツ管理基盤「Box」のセキュリティなどについて説明を行いました。

授業はA～Dクラスおよび夜間主クラスの計5回にわたり実施され、各回においてメンバーが「Box」の概要、利点と留意点、基本的な操作方法、活用事例、セ

キュリティ対策について解説しました。資料はM-COINSが作成し、動画も取り入れながら、理解しやすい説明が行われました。

受講した学生は、教室前方のスクリーンに映し出された資料を確認しつつ、熱心に説明に耳を傾けていました。授業後に実施したアンケートでは、回答した学生のほぼ全員が「理解できた」と回答しました。

M-COINSは、今後も学生の視点を生かしながら、本学におけるデジタル・キャンパス化の推進に取り組んでいきます。



説明会の様子①



説明会の様子②

「価値ある大学 就職力ランキング2026-2027」（日経HR） 「卒業生の活躍度が分かる就職力ランキング」 北海道・東北2位（全国20位）にランクイン

令和8年6月17日に発売された『日経キャリアマガジン特別編集 価値ある大学 就職力ランキング2026-2027』（日経HR発行）の「卒業生の活躍度が分かる就職力ランキング」において、室蘭工業大学が北海道・東北で2位（全国20位）、北海道では1位にランクインしました。

また、「大学の人材育成力ランキング」においては、北海道・東北4位（全国20位）となったほか、「就職力ランキング 側面別ランキング」、「大学の人材育成力ランキング 取り組み別ランキング」においても、複数の項目において道内1位となりました。

これらの結果は、本学が推進する実践的な理工系教育の成果が企業から高く評価されたものと受け止めています。特に、課題解決型学習（PBL）、グループ学習、他分野と一緒に先端企業での研究に取り組む「相棒型地域PBL」などを通じて、主体性や協働力、実践的な技術力を養成してきました。また、低年次から段階的に実施するキャリア教育や、企業との連携によるインターンシップ、またキャリアサポートセンターなどによるきめ細やかな就職支援体制により、学生一人ひとりの進路形成を支えています。これらの取り組みによって培われた、高い専門性と課題解決力、変化に対応できる柔軟性、「専門×情報」＝分野融合能力を備えた高度理工系人材を継続的に社会へ輩出してきたことが、企業の人事担当者からの評価に繋がったものと考えています。

ランキング結果

就職力ランキング

総合ランキング：全国20位（北海道・東北2位、北海道1位）

就職力ランキング側面別ランキング

- ・行動力：全国26位（北海道・東北4位、北海道1位）
- ・コミュニケーション能力：全国19位（北海道・東北1位）
- ・知力・思考力：全国18位（北海道・東北2位、北海道1位）
- ・成長力：全国16位（北海道・東北2位、北海道1位）

大学の人材育成力ランキング

総合ランキング：全国20位（北海道・東北4位、北海道2位）

大学の人材育成力ランキング 取り組み別ランキング

- ・キャリア教育に熱心に取り組む大学：全国14位（北海道・東北2位、北海道1位）
- ・産学連携に積極的な大学：全国15位（北海道・東北3位、北海道1位）
- ・すぐれた研究を行っている大学：全国10位（北海道・東北3位、北海道2位）
- ・就職支援体制が充実している大学：全国14位（北海道・東北3位、北海道1位）
- ・地域の活性化に貢献する大学：全国16位（北海道・東北2位、北海道1位）

今後も、北海道・室蘭に立地する国立の工業系大学として「真なる探究心から未来の価値づくりを。」を合言葉に、実践的な理工系教育を通じて社会に貢献する人材を育成する大学としての価値向上に取り組んでまいります。あわせて、教育プログラムの充実と支援体制の強化を図り、社会に求められる「専門×情報」＝分野融合能力を備えた高度理工系人材の育成に努めてまいります。



※出典：日経HR『日経キャリアマガジン特別編集 価値ある大学 就職力ランキング2026-2027』（2026年6月発行）

経営協議会学外委員による施設見学を実施

令和8年6月24日(水)、室蘭工業大学の教育研究活動について理解を深めていただくため、経営協議会学外委員（学外有識者）を対象に学内施設見学を実施しました。

学内施設見学に先立ち、本部棟中会議室において、もの創造系領域 廣田光智教授から「熱ゲル水溶液とドローンの組み合わせによる広域火災消火の可能性」と題して、林野火災の効率的消化のための新規消化戦略の提案とその実証について研究紹介が行われました。引き続き、教育・研究13号館（T棟）に移動し、廣田教授の研究設備（自律型ドローンスウォーム用極限飛行環境システム）を見学しました。学外委員から寄せられた質問に廣田教授が回答するなど、活発な意見交換がなされ、参加した委員からは、研究の進展に期待の声が寄せられました。

室蘭工業大学経営協議会では、テーマを設定して学外

委員から大学運営に関するご意見をいただく懇談の時間を設けており、学外委員に大学の教育研究環境をご覧いただいたことで、今後、経営協議会における議論がますます深まることが期待されます。

出席された学外委員は次のとおりです。

青山 剛委員（室蘭市長）

浦田秀行委員（北海道経済産業局長）

熊谷保之委員（株式会社日本製鋼所室蘭製作所長）

鈴木恵二委員（公立大学法人公立はこだて未来大学理事長・学長）

鷲見紋子委員（北海道公立大学法人札幌医科大学医療人育成センター長）

高宮則夫委員（室蘭工業大学同窓会会長）

牧野 充委員（北海道胆振総合振興局長）



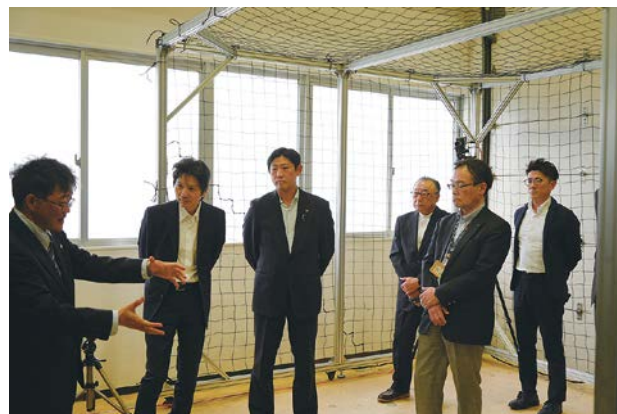
研究紹介する廣田教授



教育・研究13号館（T棟）に移動して研究紹介する廣田教授



研究設備の説明を受ける委員



質疑の様子

情報・資料

国立大学法人室蘭工業大学の役職員の 報酬・給与等について

様式 1 公表されるべき事項

国立大学法人室蘭工業大学（法人番号4430005010204）の役職員の報酬・給与等について（令和 7 年度）

I 役員報酬等について

1 役員報酬についての基本方針に関する事項

① 役員報酬の支給水準の設定についての考え方

本学の主要事業は教育・研究事業である。役員報酬水準を検討するにあたって、他の国立大学法人、国家公務員等のほか、以下を参考とした。

事務次官年間報酬額…23,235千円

② 令和 7 年度における役員報酬についての業績反映のさせ方（業績給の仕組み及び導入実績を含む。）

本学の役員に支給する期末特別手当（ボーナス）において、役員の俸給等に当該役員の職務実績に応じて、期末特別手当額の100分の10の範囲内で増額又は減額することができることとしており、経営協議会の議を経るものとしている。

③ 役員報酬基準の内容及び令和 7 年度における改定内容

法人の長

役員報酬支給基準は、俸給及び諸手当（地域手当、通勤手当、単身赴任手当、期末特別手当及び寒冷地手当）から構成されている。俸給については、国立大学法人室蘭工業大学役員の給与、退職手当、紀律、旅費に関する規則に則り、俸給（1,006,000円）を支給している。期末特別手当についても、同規則に則り、基礎額（俸給+俸給×100分の20+俸給×100分の25）に100分の175を乗じ、さらに基準日以前 6 箇月以内の機関におけるその者の在職期間に応じた割合を乗じて得た額としている。また、この額は、その者の職務実績に応じて、その額の100分の10の範囲内で、これを増額し、又は減額することができる。

なお、令和 7 年度では、国家公務員の給与改定に準拠し、常勤役員俸給表を一般職俸給表（一）との均衡を考慮した改正（引き上げ改定）を実施した。

また、期末特別手当支給率の引き上げ（年間3.45ヶ月分→3.50ヶ月分）を実施した。

理事

役員報酬支給基準は、法人の長と同様であるが、俸給については、736,000円から1,006,000円の範囲で法人の長が定めることとしている。

なお、令和 7 年度における改正内容は法人の長と同じである。

理事（非常勤）

該当者なし

監事

役員報酬支給基準は、法人の長と同様であるが、俸給については、月額736,000円を支給している。
なお、令和7年度における改正内容は法人の長と同じである。

監事（非常勤）

役員報酬は、俸給のみで構成されている。俸給については、月額201,000円の定額としている。
なお、令和7年度では、国家公務員の給与改定に準拠し、非常勤の役員の俸給を、一般職俸給表（一）との均衡を考慮した改正（引き上げ改定）を実施した。

2 役員の報酬等の支給状況

役名	令和7年度年間報酬等の総額				就任・退任の状況		前職
		報酬（給与）	賞与	その他（内容）	就任	退任	
法人の長	千円 17,302	千円 12,072	千円 5,105	千円 0（通勤手当） 125（寒冷地手当）			※
A理事	千円 13,683	千円 9,528	千円 4,029	千円 0（通勤手当） 125（寒冷地手当）			※
B理事	千円 12,780	千円 8,832	千円 3,735	千円 87（通勤手当） 125（寒冷地手当）			※
C理事	千円 12,692	千円 8,832	千円 3,735	千円 0（通勤手当） 125（寒冷地手当）			※
A監事	千円 12,692	千円 8,832	千円 3,735	千円 0（通勤手当） 125（寒冷地手当）			
B監事 （非常勤）	千円 2,412	千円 2,412	千円 0	千円 0（ ）			※

注：「前職」欄には、役員の前職の種類別に以下の記号を付す。
退職公務員「※」、役員出向者「◇」、独立行政法人等の退職者「※」、退職公務員でその後独立行政法人等の退職者「※※」、該当がない場合は空欄

3 役員の報酬水準の妥当性について

【法人の検証結果】

法人の長

本学は、未来をひらく科学技術者の育成、人間・社会・自然との調和を考えた創造的な科学技術研究の発展、地域社会さらには国際社会における知の拠点として社会の発展への貢献、という本学の理念に基づき、国際的通用性をもった科学技術者の育成、科学技術分野における知の創造、産学官連携及び地域貢献を使命としており、学部及び大学院博士前期課程を通じた教育の重点化、本学の特色を活かした特定分野における地域の発展への貢献を学長のリーダーシップの下で推進している。本学の学長は、教職員約300名を有する法人を代表し、その業務を総理するとともに、校務を司り、所属職員を統督して、経営責任者と教学責任者との職務を同時に担っている。また、本学は、学長の報酬月額を法人化移行前の国家公務員指定職俸給表の俸給月額を踏まえて決定しているが、学長の職務内容の特性は上記のとおり法人化移行前と同等以上であり、これまでの各年度における業績評価の結果を勘案したものとしている。

こうした職務内容の特性等を踏まえると、報酬水準は妥当であると考ええる。

理事

本学には3名の理事がおり、学長のリーダーシップの下、それぞれが総務・財務担当及び学術・情報担当、研究・連携担当として学長を補佐し、本学の業務を掌理している。

なお、理事の報酬月額は、法人化移行前の国家公務員指定職俸給表の俸給月額を踏まえて決定している。また、理事の年間報酬額は他の工科系単科大学の理事の報酬水準と同程度になっている。

こうした職務内容の特性や他の工科系単科大学との比較を踏まえると、報酬水準は妥当であると考ええる。

理事（非常勤）

該当者なし

監事

本学には1名の監事がおり、本学の業務全般についての監査を行い、監査結果に基づき、必要があると認められるときは学長又は文部科学大臣へ意見を提出する等の役割を担っている。

なお、監事の報酬月額は、職務内容及び責任の程度に加え、本学における役員全体の報酬体系との均衡を踏まえて算定している。

また、監事の年間報酬額は他の工科系単科大学の監事の報酬水準と同程度になっている。

こうした職務内容の特性や他の工科系単科大学との比較を踏まえると、報酬水準は妥当であると考ええる。

監事（非常勤）

本学には1名の監事（非常勤）がおり、本学の業務全般についての監査を行い、監査結果に基づき、必要があると認められるときは学長又は文部科学大臣へ意見を提出する等の役割を担っている。

監事（非常勤）の報酬月額は、常勤役員の報酬を元に、勤務形態等を勘案して決定している。また、監事（非常勤）の年間報酬額は他の工科系単科大学の監事（非常勤）の報酬水準と同程度になっている。

こうした職務内容の特性や他の工科系単科大学との比較を踏まえると、報酬水準は妥当であると考ええる。

【文部科学大臣の検証結果】

職務内容の特性や国家公務員指定職適用官職、他の同規模の国立大学法人との比較などを考慮すると、役員の報酬水準は妥当であると考ええる。

4 役員の退職手当の支給状況（令和7年度中に退職手当を支給された退職者の状況）

区分	支給額（総額）	法人での在職期間		退職年月日	業績勘案率	前職
法人の長	千円 該当者なし	年	月			
理事	千円 該当者なし	年	月			
監事	千円 該当者なし	年	月			
監事 （非常勤）	千円 該当者なし	年	月			

注：「前職」欄には、退職者の役員時の前職の種類別に以下の記号を付す。
退職公務員「*」、役員出向者「◇」、独立行政法人等の退職者「※」、退職公務員でその後独立行政法人等の退職者「*※」、該当がない場合は空欄

5 退職手当の水準の妥当性について

【法人の判断理由等】

区 分	判 断 理 由
法人の長	該当者なし
理事	該当者なし
監事	該当者なし
監事 （非常勤）	該当者なし

注：「判断理由」欄には、法人の業績、担当業務の業績及び個人的な業績の検討結果を含め、業績勘案率及び退職手当支給額の決定に到った理由等を具体的に記入する。

【文部科学大臣の検証結果】

該当なし

6 業績給の仕組み及び導入に関する考え方

役員に支給する期末特別手当（ボーナス）において、役員の俸給等に当該役員の職務実績に応じて、期末特別手当の100分の10の範囲内で増額又は減額することができることとしており、今後も継続する。

II 職員給与について

1 職員給与についての基本方針に関する事項

① 職員給与の支給水準の設定等についての考え方

本学職員の給与水準を検討するにあたって、一般職の職員の給与に関する法律に定める職種に応じた俸給表の内、行政職俸給表（一）の平均給与月額を参考にした他、令和7年度職種別民間給与実態調査によるデータのうち、企業規模別（本学約300人）・職種別平均支給額を参考にした。

（１）国家公務員…令和7年度において、国家公務員のうち行政職俸給表（一）の平均給与月額は414,480円となっており、全職員の平均給与月額は424,979円となっている。

（２）職種別民間給与実態調査において、本学と同等の規模（100人以上500人未満）で、事務係長の大学卒の4月の平均支給額は459,488円となっている。

② 職員の発揮した能率又は職員の勤務成績の給与への反映方法についての考え方（業績給の仕組み及び導入実績を含む。）

賞与：勤勉手当（査定分）：基準日（6月1日・12月1日）以前における直近の人事評価の結果及び基準日以前6箇月以内の期間における勤務の状況に応じて決定される支給割合（成績率）に基づき支給することができる。

昇給：5段階の昇給区分（号俸数）により、昇給日（1月1日）において学長が定める日以前1年間における勤務成績に応じて昇給することができる。

昇格・降格：勤務成績が特に良好な職員で本学が定める基準を満たしている者については、その者が従事する職務に応じ、かつ総合的な能力の評価により、1級上位の級に昇格させることができる。また、勤務実績がよくない等のため降任した場合に、下位の級に降格させることができる。

③ 給与制度の内容

国立大学法人室蘭工業大学職員の給与等に関する規則に則り、俸給及び諸手当（俸給の調整額、俸給の特別調整額、初任給調整手当、扶養手当、地域手当、広域異動手当、住居手当、通勤手当、単身赴任手当、長期出向等手当、特殊勤務手当、超過勤務手当、休日勤務手当、管理職員特別勤務手当、期末手当、勤勉手当、寒冷地手当、入試手当、学位論文審査手当、作業環境測定業務従事手当、大学主催事業等従事手当、安全衛生巡視業務従事手当及び産業医業務従事手当）としている。

期末手当については、期末手当基礎額（（俸給月額+俸給の調整額）+扶養手当）+これらに対する地域手当及び広域異動手当+役職加算額）に100分の126.25を乗じ、さらに基準日以前6箇月以内の期間におけるその者の在職期間に応じた割合を乗じて得た額としている。

勤勉手当については、勤勉手当基礎額（（俸給月額+俸給の調整額）+これらに対する地域手当及び広域異動手当+役職加算額）に勤務成績に応じて、学長が基準日ごとに定める割合を乗じ、さらに基準日以前6箇月以内の期間におけるその者の在職期間に応じた割合を乗じて得た額としている。

④ 給与制度の令和7年度における主な改定内容

(1) 俸給表

①一般職俸給表(一)

3級～7級について、職務や職責に応じた給与上昇を確保するとともに、民間人材等の処遇を確保する観点から、各級の初号付近の号俸をカットし、これらの級の初号の俸給月額を引き上げる。また、8級～10級について、現行の号俸を大きくくり化することによって、各級を俸給月額の刻みの大きい簡素な号俸構成とする。

1級(大卒程度)の初任給を12,000円、1級(高卒者)の初任給を12,300円引上げ。これを踏まえ、おおむね30歳台後半までの職員が在職する号俸に重点を置いた改正を行うとともに、その他の職員が在職する号俸については、改定額を逡減させつつ全ての号俸について所要の改正を行う。(平均改定率3.3%)

②その他の俸給表

一般職俸給表(二)、教育職俸給表、医療職俸給表及び指定職俸給表も上記との均衡を考慮した改正を行う。

(2) 扶養手当

配偶者に係る手当を廃止するとともに、子に係る手当を13,000円に引き上げる。(経過措置あり)

(3) 地域手当及び長期出向手当

異動等により在勤地が変わり地域手当の支給割合が下がる場合の変動を緩和する措置、(異動保障)を3年に延長する。また、地域手当異動保障期間の延長に伴い、長期出向等手当の支給割合についても改正を行う。(経過措置あり)

(4) 管理職員特別勤務手当

休日以外の日の正規の勤務時間以外の時間に勤務した場合の支給対象となる時間を、午後10時から翌日午前5時までに拡大する。

(5) 初任給調整手当

・医療職俸給表の改定状況を勘案し、医師の処遇を確保する観点から、支給月額の限度を500円引き上げる。

(6) 期末手当及び勤勉手当

・期末手当及び勤勉手当の年間の支給月数を0.05月分引き上げて4.65月とする。
・引上げ分は、期末手当及び勤勉手当に均等に配分する。

(7) 通勤手当

交通機関又は新幹線鉄道等を利用して通勤する際の支給限度額を月額150,000円に引き上げる。

民間における同種手当の支給額を踏まえ、自動車等を利用する者に対する手当について支給月額を最大7,100円引き上げる。

(8) 俸給の特別調整額

一般職俸給表(一)適用を受ける管理又は監督の地位にある職員の業務が複雑になり高度化している現状や北海道内の他大学との均衡を踏まえ、一般職俸給表(一)4級～6級の職員について支給月額80,000円の区分を新設するとともに、一部の区分について支給月額の引き上げ等を行う。

2 職員給与の支給状況等

① 常勤職員の数

全常勤職員（令和8年4月1日時点）：265人

注：常勤の在外職員、任期付職員及び再雇用職員を含む全ての常勤職員の総数

うち同一の職種等により通年で給与が支給された職員（対象常勤職員）：233人

②-1 職種別支給状況（常勤職員（年俸制適用者以外））

区分	人員	平均年齢	総額	令和7年度の年間給与額（平均）		
				うち所定内	うち通勤手当	うち賞与
常勤職員	人 154	歳 49.5	千円 7,628	千円 5,461	千円 33	千円 2,167
事務・技術	人 85	歳 43.1	千円 6,109	千円 4,436	千円 32	千円 1,673
教育職種 （大学教員）	人 69	歳 57.4	千円 9,500	千円 6,723	千円 35	千円 2,777
医療職種 （病院医師）	人 該当者なし	歳	千円	千円	千円	千円
医療職種 （病院看護師）	人 該当者なし	歳	千円	千円	千円	千円
その他医療職種 （看護師）	人	歳	千円	千円	千円	千円

②-2 職種別支給状況（常勤職員（年俸制適用者））

常勤職員	人 75	歳 46.0	千円 8,259	千円 8,259	千円 56	千円 0
事務・技術	人 該当者なし	歳	千円	千円	千円	千円
教育職種 （新年俸制適用職員）	人 69	歳 45.7	千円 8,237	千円 8,237	千円 54	千円 0
教育職種 （旧年俸制適用職員）	人 6	歳 50.0	千円 8,516	千円 8,516	千円 77	千円 0
医療職種 （病院医師）	人 該当者なし	歳	千円	千円	千円	千円
医療職種 （病院看護師）	人 該当者なし	歳	千円	千円	千円	千円
その他医療職種 （看護師）	人 該当者なし	歳	千円	千円	千円	千円

②-3 職種別支給状況（再雇用職員）

再任用職員	人 3	歳 63.5	千円 4,238	千円 3,115	千円 34	千円 1,123
事務・技術	人 3	歳 63.5	千円 4,238	千円 3,115	千円 34	千円 1,123
教育職種 （大学教員）	人 該当者なし	歳	千円	千円	千円	千円
医療職種 （病院医師）	人 該当者なし	歳	千円	千円	千円	千円
医療職種 （病院看護師）	人 該当者なし	歳	千円	千円	千円	千円

②- 4 職種別支給状況（非常勤職員（年俸制適用者以外））

非常勤職員	人	歳	千円	千円	千円	千円
事務・技術	人 該当者なし	歳	千円	千円	千円	千円
教育職種 （大学教員）	人 該当者なし	歳	千円	千円	千円	千円
医療職種 （病院医師）	人 該当者なし	歳	千円	千円	千円	千円
医療職種 （病院看護師）	人 該当者なし	歳	千円	千円	千円	千円
技能・労務職種	人	歳	千円	千円	千円	千円

②- 5 職種別支給状況（非常勤職員（年俸制適用者））

非常勤職員	人	歳	千円	千円	千円	千円
	8	60.8	6,946	6,946	60	0
事務・技術	人 該当者なし	歳	千円	千円	千円	千円
教育職種 （大学教員）	人 8	歳 60.8	千円 6,946	千円 6,946	千円 60	千円 0
医療職種 （病院医師）	人 該当者なし	歳	千円	千円	千円	千円
医療職種 （病院看護師）	人 該当者なし	歳	千円	千円	千円	千円

注1：常勤職員の「その他医療職種（看護師）」及び非常勤職員の「技能・労務職種」「特定職種（特定専門職員）」については、該当者が2人以下のため、当該個人に関する情報が特定されるおそれのあることから、区分以外は記載せず、常勤職員及び非常勤職員全体の数値からも除外している。

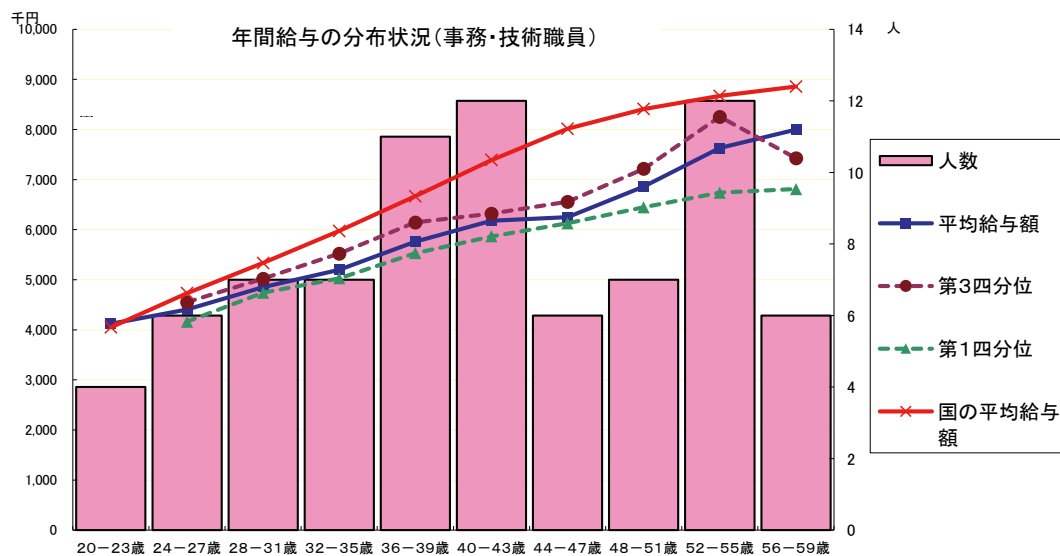
注2：常勤職員については、在外職員、任期付職員及び再雇用職員を除く。

注3：任期を定めて採用されている常勤職員の給与水準は他の同種の常勤職員と同じであることから常勤職員に含める。

注4：「年間給与額」は、時間外手当を除く給与の額

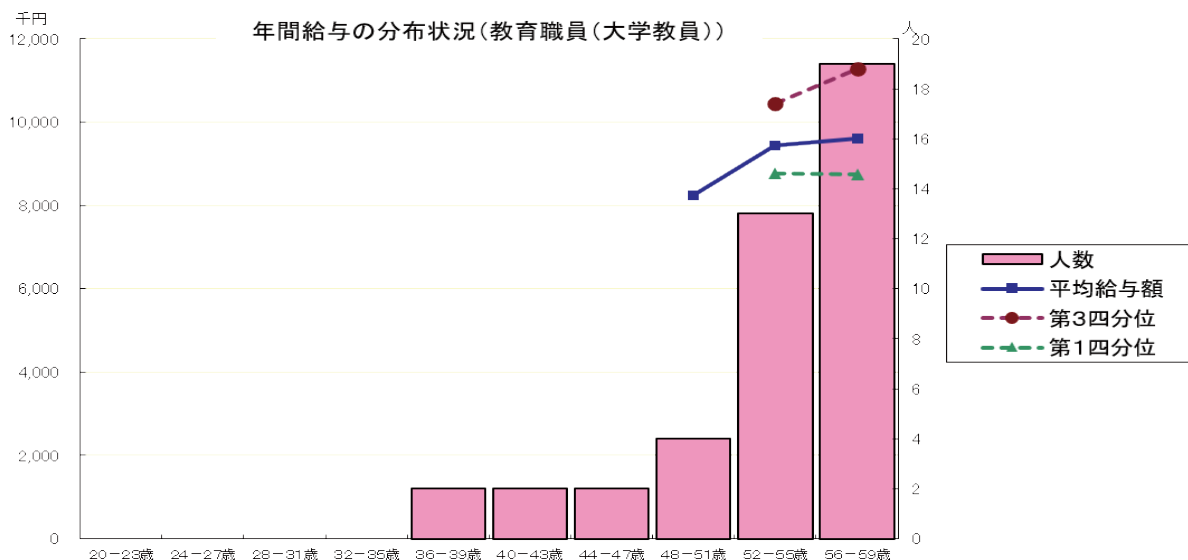
注5：在外職員及び任期付職員については、全職種で該当者がいないため省略した。

- ③ 年齢別年間給与の分布状況（事務・技術職員／教育職員（大学教員））〔在外職員、任期付職員、再雇用職員、年俸制適用者75人を除く。以下、④まで同じ。〕



注1：①の年間給与額から通勤手当を除いた状況である。以下、④まで同じ。

注2：年齢20～23歳の該当者は4人であるため、当該個人に関する情報が特定されるおそれのあることから、年間給与額の第1・第3四分位については表示していない。



注1：②の年間給与額から通勤手当を除いた状況である。以下、④まで同じ。

注2：年齢36～39歳、40～43歳、44～47歳の該当者は2人であるため、当該個人に関する情報が特定されるおそれのあることから、年間給与については表示していない。

注3：年齢48～51歳の該当者は4人以下であるため、当該個人に関する情報が特定されるおそれのあることから年間給与額の第1・第3分位については表示していない。

④ 職位別年間給与の分布状況（事務・技術職員／教育職員（大学教員））
（事務・技術職員）

分布状況を示す グループ	人員	平均年齢	年間給与額	
			平均	（最高～最低）
	人	歳	千円	千円
局長	1			
課長	6	53.0	8,563	9,346～8,175
副課長	9	53.6	7,064	7,428～6,741
係長	34	44.1	6,235	7,215～5,067
主任	9	37.8	5,455	5,888～4,937
係員	19	28.3	4,582	5,168～4,022
特命職	7	60.9	5,814	7,316～4,233

注1：「副課長」には課長補佐相当職である「室長」及び「技術専門員」を、「係長」には係長相当職である「技術専門職員」を、「係員相当」には「事務職員」のほか「技術職員」をそれぞれ含む。

注2：局長の該当者は1人のため、当該個人に関する情報が特定されるおそれのあることから、平均年齢及び年間給与の平均額については記載していない。

（教育職員（大学教員））

分布状況を示す グループ	人員	平均年齢	年間給与額	
			平均	（最高～最低）
	人	歳	千円	千円
教授	31	60.2	10,825	12,289～10,027
准教授	27	55.7	8,811	9,819～7,929
講師	1			
助教	10	53.0	7,159	7,765～6,761

注1：講師の該当者は1人のため、当該個人に関する情報が特定されるおそれのあることから、平均年齢及び年間給与の平均額については記載していない。

⑤ 賞与（令和7年度）における査定部分の比率（事務・技術職員／教育職員（大学教員））
（事務・技術職員）

区分		夏季（6月）	冬季（12月）	計
管理職員	一律支給分（期末相当）	% 51.9	% 51.6	% 51.8
	査定支給分（勤勉相当） （平均）	% 48.1	% 48.4	% 48.2
	最高～最低	% 58.5～43.0	% 58.3～43.2	% 58.4～43.1
一般職員	一律支給分（期末相当）	% 54.4	% 54.4	% 54.4
	査定支給分（勤勉相当） （平均）	% 45.6	% 45.6	% 45.6
	最高～最低	% 49.8～41.9	% 49.7～42.2	% 48.8～42.0

(教員職員 (大学職員))

区分		夏季 (6月)	冬季 (12月)	計
管理職員	一律支給分 (期末相当)	% 52.6	% 52.5	% 52.6
	査定支給分 (勤勉相当) (平均)	% 47.4	% 47.5	% 47.4
	最高～最低	% 49.8～44.3	% 49.8～44.4	% 48.8～44.3
一般職員	一律支給分 (期末相当)	% 54.6	% 54.5	% 54.5
	査定支給分 (勤勉相当) (平均)	% 45.4	% 45.5	% 45.5
	最高～最低	% 49.8～41.9	% 49.8～42.2	% 49.0～42.1

3 給与水準の妥当性の検証等

事務・技術職員

項 目	内 容
対国家公務員 指数の状況	・年齢勘案 86.5 ・年齢・地域勘案 96.8 ・年齢・学歴勘案 85.5 ・年齢・地域・学歴勘案 96.0 (参考) 対他法人 100.1
国に比べて給与 水準が高くなっ ている理由	
給与水準の妥当 性の検証	(法人の検証結果) 【国からの財政支出について】 支出予算の総額に占める国からの財政支出の割合 55.98% (国からの財政支出額3,288百万円、支出予算の総額 5,874百万円：令和7年度予算) 【累積欠損額について】 累積欠損額0円 (令和6年度決算) 【大卒以上の高学歴者の割合 74.1% (常勤職員85名中63名)】 【支出総額に占める給与・報酬等支給総額 38.54%】 (支出総額 5,614,919千円、給与・報酬等支出総額 2,163,955千円：令和6年度決算) (法人の検証結果) 支出予算の総額に占める国からの財政支出の割合はやや高いものの、累積欠損はなく、対国家公務員指数も100以下であるため、給与水準は適切であると考えている。 (文部科学大臣の検証結果) 法人の職員の給与水準は、職務の特性や国家公務員、民間企業の従業員の給与等を勘案し、設定の考え方を明らかにすることが求められており、国家公務員と比べて給与水準が高い法人は、その合理性及び妥当性について、説明責任を果たすべきこととされている。(独立行政法人改革等に関する基本的な方針 (平成25年12月24日閣議決定)) 当該法人は、国家公務員の給与及び民間企業の従業員の給与等を総合的に勘案したうえで、職員の給与水準を設定しており、法人における給与水準の妥当性の検証結果から、適切な対応が執られていると考える。引き続き、適切な給与水準の設定に努めていただきたい。
講ずる措置	職員の給与水準については、今後も引き続き社会一般の情勢に適合したものになるよう努める。

○教育職員 (大学教員) と国家公務員との給与水準の比較指標 87.8

(注) 上記比較指標は、法人化前の教育職 (一) と行政職 (一) の年収比率を基礎に、令和6年度の教育職員 (大学教員) と国の行政職 (一) の年収比率を比較して算出した指数である。

4 モデル給与

●事務・技術職員 (扶養親族がない場合)
○22歳 (事務局「係員」、大卒初任給)
月額 232,000円 年間給与 3,844,240円
○35歳 (事務局「係長」)
月額 310,500円 年間給与 5,215,932円
○50歳 (事務局「副課長」)
月額 389,400円 年間給与 6,630,312円
●教育職員 (大学教員)
(扶養親族がない場合)
○27歳 (助教、博士終了初任給)
月額 352,650円 年間給与 5,843,408円
○35歳 (助教)
月額 376,050円 年間給与 6,317,072円
○50歳 (教授)
月額 599,600円 年間給与 10,346,396円
※扶養親族がいる場合には、扶養手当 (配偶者3,000円、子一人につき11,500円を支給 (月額))

5 業績給の仕組み及び導入に関する考え方

職員の勤務成績に応じて、昇給、昇格及び降格の実施並びに勤勉手当 (6 月期・12月期) 支給割合の増減を行っており、今後も継続する。
--

Ⅲ 総人件費について

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
給与、報酬等支給総額 (A)	千円 2,071,991	千円 2,161,483	千円 2,163,955	千円 2,197,981	千円	千円
退職手当支給額 (B)	千円 55,244	千円 219,491	千円 176,829	千円 121,175	千円	千円
非常勤役職員等給与 (C)	千円 281,055	千円 258,055	千円 258,151	千円 252,491	千円	千円
福利厚生費 (D)	千円 361,571	千円 372,277	千円 371,794	千円 377,371	千円	千円
最広義人件費 (A + B + C + D)	千円 2,769,861	千円 3,011,306	千円 2,970,729	千円 2,949,018	千円	千円

注1：中期目標期間の開始年度分から当年度分までを記載する。
注2：「非常勤役職員等給与」においては、受託研究費等により雇用される職員に費用を含んでいるため、財務諸表附属明細書「18. 役員及び教職員の給与の明細」における非常勤の合計額と一致しない。

総人件費について参考となる事項

- ・「給与、報酬等支給総額」の対前年度比が1.57%増となった要因
俸給表引き上げ（平均改定率3.3%）及びボーナス（期末手当及び勤勉手当）の年間支給月数の引き上げ（0.05月分）を実施したため、給与、報酬等支給総額が前年度より1.57%増額した。
- ・「退職手当支給額」の対前年度比が31.47%減となった要因
昨年より事務職員退職者が減少したため退職手当支給額が前年度より31.47%減額した。
（令和6年度退職者等4名、令和7年度退職者等1名）
- ・「最広義人件費」の対前年比が0.73%減となった要因
上記に記載した要因による給与、報酬等支給額の増加、事務職員退職者等の減少により最広義人件費は前年度より0.73%減額した。

IV 定年制度及び60歳以上の職員の給与制度

教育職員（大学教員）の定年年齢は65歳である。事務・技術職員については令和7年4月1日に定年年齢を61歳から62歳に引き上げた。

定年年齢の引き上げに伴い、事務・技術職員については、60歳に達した職員は特命職に配置換する制度を設けているほか、職員の基本給について61歳に達する年度から58%水準とし、最低額を定めた。

また、パートタイム勤務職員である再雇用職員の諸手当として新たに地域手当、広域異動手当、住居手当、単身赴任手当及び寒冷地手当を支給する給与改正を令和7年4月1日に行った。

V その他

特になし。

外部資金

民間等との共同研究の受入れ

研究代表者・職・氏名	相手方区分	金 額 (千円)
もの創造系領域 教 授 有 村 幹 治	大 企 業	2,000
もの創造系領域 教 授 安 藤 哲 也	中 小 企 業	1,010
もの創造系領域 教 授 内 海 政 春	大 企 業	6,500
もの創造系領域 教 授 内 海 政 春	大 企 業	3,345
もの創造系領域 教 授 小 室 雅 人	中 小 企 業	550
もの創造系領域 教 授 高 瀬 裕 也	大 企 業	4,500
もの創造系領域 教 授 濱 幸 雄	大 企 業	500
もの創造系領域 教 授 湯 浅 友 典	大 企 業	700
もの創造系領域 准教授 楠 本 賢 太	大 企 業	1,950
もの創造系領域 准教授 境 昌 宏	中 小 企 業	500
もの創造系領域 准教授 境 昌 宏	中 小 企 業	500
しくみ解明系領域 教 授 大 平 勇 一	中 小 企 業	600
しくみ解明系領域 教 授 亀 川 厚 則	大 企 業	2,000
しくみ解明系領域 教 授 近 藤 敏 志	大 企 業	1,690
しくみ解明系領域 教 授 塩 谷 浩 之	中 小 企 業	650
しくみ解明系領域 教 授 長谷川 靖	大 企 業	1,300
しくみ解明系領域 教 授 渡 邊 真 也	大 企 業	781
合 計 (17件)		29,076

※大企業・中小企業の別は、中小企業基本法（昭和38年法律第154号）第2条による。

受託研究等の受入れ

研究代表者・職・氏名	委託先区分	金 額 (千円)
もの創造系領域 准教授 浅 田 拓 海	そ の 他	650
もの創造系領域 准教授 浅 田 拓 海	そ の 他	650
合 計（2件）		1,300

奨学寄附金の受入れ

寄 附 者	目 的	金 額 (千円)
株式会社テツゲン	ロボットアリーナ事業運営費	510
室蘭工業大学学生後援会	室蘭工業大学と学生父母との 連携及び学生支援のための助成 (課外活動援助分兼食支援)	1,720
室蘭工業大学学生後援会	室蘭工業大学と学生父母との 連携及び学生支援のための助成 (大学運営援助・進学就職分)	3,370
一般社団法人日本鉄鋼連盟	工 学 研 究 助 成	800
東京エレクトロンテクノロジーソリューションズ株式会社	工 学 研 究 助 成	600
新栄クリエイト株式会社	工 学 教 育 助 成	50
北電総合設計株式会社	工 学 研 究 助 成	300
DOWAホールディングス株式会社	工 学 教 育 助 成	300
株式会社アットマークテクノ	工 学 教 育 助 成	50
電制コムテック株式会社	工 学 教 育 助 成	200
一般社団法人室蘭工業大学同窓会	室蘭工業大学同窓会 (大学運営助成)	3,070
株式会社タクマ	工 学 研 究 助 成	500
株式会社大昌電子	工 学 教 育 助 成	100
株式会社アトリエブントク	工 学 研 究 助 成	900
株式会社モビテック	工 学 教 育 助 成	250
一般社団法人北海道河川財団	工 学 研 究 助 成	2,660
一般社団法人北海道河川財団	工 学 研 究 助 成	300
合 計 (17件)		15,680

人 事

人 事 異 動

国立大学法人
室蘭工業大学長発令

発令年月日	異 動 内 容	氏 名	現 職
令和 8 年 7 月 1 日	〈採 用〉 大学院工学研究科准教授（もの創造系領域）	永 田 靖 典	次世代宇宙システム技術研究組合 MarsTouchプロジェクト 主任研究員
令和 8 年 7 月 1 日	〈配置換〉 総務広報課係長（人事企画係）	渡 邊 唯	総務広報課係長 （労務管理係（労務担当））
	総務広報課係長（労務管理係（労務担当））	大 金 慎二郎	総務広報課係長 （労務管理係（福利厚生担当））
	総務広報課係長（労務管理係（福利厚生担当））	笹 裕 幸	経理課係長 （経理係（決算担当））
	経理課係長（経理係（決算担当））	堀 切 香 菜	研究推進課係長（研究戦略係）
	経理課係長（調達係）	成 谷 道 生	施設課係長（施設企画係）
	施設課係長（施設企画係）	渡 邊 慎 二	経理課係長（調達係）
	学務課係長（教務企画係）	青 木 要	総務広報課係長（人事企画係）
	研究推進課係長（研究戦略係）	利 田 大 輝	学務課係長（教務企画係）
	監査室主任（監査係）	高 橋 秀 徳	学務課主任（学生支援係）
	経営企画課係員（財務戦略係）	吉 田 竣 稀	研究推進課係員（研究支援係）
	総務広報課係員（総務係）	来 山 優 太	入試戦略課係員（入学試験係）
	学務課係員（教務企画係）	芥 川 広 樹	総務広報課係員（総務係）
	入試戦略課係員（入試企画係）	伊 藤 祐 太	経営企画課係員（財務戦略係）
	入試戦略課係員（入学試験係）	玉 根 宏 大	入試戦略課係員（入試企画係）
	研究推進課係員（研究支援係）	安 彦 賢	経理課係員（経理係）

学内会議

学内各種委員会等の開催

< 5月25日～6月24日 >

開催日時 令和8年5月26日(火)
会議名 第6回役員会

開催日時 令和8年6月4日(木)
会議名 第7回役員会

開催日時 令和8年6月4日(木)
会議名 第3回教育研究評議会

開催日時 令和8年6月9日(火)
会議名 第4回企画戦略会議

開催日時 令和8年6月11日(木)
会議名 第2回教授会

開催日時 令和8年6月17日(水)
会議名 第8回役員会

開催日時 令和8年6月23日(火)
会議名 第5回企画戦略会議

開催日時 令和8年6月24日(水)
会議名 第9回役員会

開催日時 令和8年6月24日(水)
会議名 第2回経営協議会

学内行事

- 6 月 5 日(金) 合格発表【令和 9 年度 編入学推薦入試】
- 6 月15日(月) 日本学生支援機構海外留学支援制度（協
定受入）奨学金プログラム
台湾国立屏東大学を対象とした研修プロ
グラムを実施（30日まで）
- 6 月19日(金) 第35回 蘭岳セミナー

学外行事

- 5 月29日(金) 令和 8 年度全国国立大学工学系学長懇談
会（30日まで）（京都市）

室蘭工業大学 人物図鑑

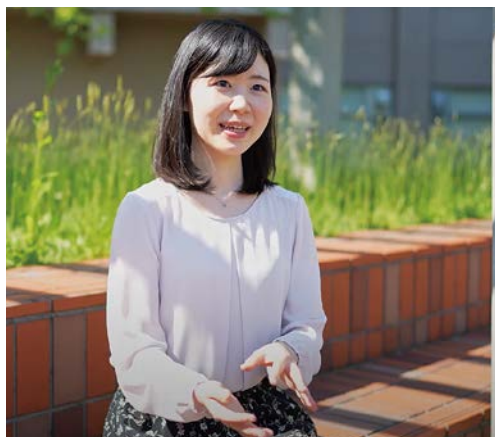
室蘭工業大学に所属する教員・職員に
専門分野、業務内容、室工大の
Good Pointなどを聞いてみました。

- ①専門・業務内容
- ②室工大のGood Point
- ③室工大で好きなspot



Part
51

池 田 麻 衣



- ①事務職員、学納金の納入関係、債権管理など
- ②前向きで温かい方が多いところ。
- ③図書館。本部棟階段から見える「そらみち」と鷲別岳の景色。

Part
52

教 授 澤 田 紋 佳



- ①教授、無機材料工学・触媒化学、モンゴル研修、社会体験実習など
- ②専門分野だけでなく、一般教養科目も多岐にわたって学ぶ機会がある
- ③U棟4階の廊下～晴れた日だけ海が見える。初夏、山から降りてくる雲の波もきれい

編集後記

◆ 室蘭工業大学に非常に嬉しいニュースが届きました。日経HRが発表した「卒業生の活躍度が分かる就職力ランキング」で、本学が北海道 1 位、北海道・東北 2 位（全国20位）にランクインしたのです。

企業の皆さまから、本学の卒業生が持つ知力・思考力や成長力、コミュニケーション能力などを高く評価していただいたことは、大学（特に在学生）にとって非常に大きな励みになりました。

広報担当として学生の活躍に触れる機会がありますが、研究や授業、課外活動などに真剣に取り組む姿を見ると、室工大の学生は真面目で素直で一所懸命だなあといつも感じます。今回のランクインは、そうした日々の積み重ねが企業から評価されたものなのかもしれません。

これからも室蘭工業大学は、「専門×情報」の力を備えた高度理工系人材を育て、地域や社会に貢献していきます。今後も広報誌、SNSなどでも、学生や教職員の取り組みを引き続きお届けしていきますので、ぜひご覧いただければ幸いです。



（Garoon：総務広報課秘書広報係、E-mail：koho@muroran-it.ac.jp）

（総務広報課秘書広報係）



室蘭工業大学のキャラクター「ムロびょん」

■編集発行

室蘭工業大学総務広報課
〒050-8585 室蘭市水元町27番1号 電話 0143-46-5008

■印刷所

株式会社日光印刷
電話 0143-47-8308